

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	基礎製図演習Ⅱ [Basic Drafting ExercisesⅡ]				実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング
科目コード	260003	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	岡島 直方				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP3(4)	
授業概要	図面表現の基礎を学びます。道具を使いながら手描きで図面を描きます。工学系の学科における「図学」のごく初歩の内容を含みます。使う道具は、三角定規、コンパス、直定規、分度器、雲形定規、ペン、鉛筆、色鉛筆、水彩道具、三角スケール、プレートなどで、道具の使い方から始まり、線の描き方、正射投影法と、基礎製図Ⅰから引き続き、等角投影法を通じて平面上に立体の全体像(パース)を表現する感覚を養い、単純な形態をモチーフとして透視図法を描くところまで取り扱います。【知識・理解を活用】、【人間力寛容】						
関連する科目	園学分野に進む学生は、「基礎製図実習Ⅰ」ともに本科目を受講してください。「基礎製図演習Ⅰ」と「基礎製図演習Ⅱ」は、一連の科目ですので、両方で一つのみとなります。2年生前期の「庭園学演習」を受講する前に基礎製図演習ⅠとⅡの内容が理解されている必要があります。その後は「敷地計画論演習」「コンピュータ・CAD演習」が一連の授業体系を構成しています。						
授業の進め方と方法	課題が出されるので時間中に取り組んで提出をします。課題を仕上げるのにかかる時間に個人差があるので、時間内に終わらない場合は、課外時間を使って仕上げなければならないことがあります。演習は1日に90分授業を2コマ連続で行うため、合計180分となります。下の授業計画では2回分が一日分です。						
授業計画	<p>第1回: 正射投影と等角投影 (5課題) 3次元空間を2次元で表現するときに最も直感的に見て捉えやすい図形の描き方の練習を幾何学的立体で行う。</p> <p>第2回: 着色用の色彩パレット 水彩色鉛筆の表現可能性を知る。</p> <p>第3回: 建物と樹木の等角投影図 第4回: 建物と樹木の等角投影図 第5回: 住宅の庭の等角投影図(平面) 第6回: 住宅の庭の等角投影図(平面) 第7回: 住宅の庭の等角投影図(等角投影) 第8回: 住宅の庭の等角投影図(等角投影) 第9回: 住宅の庭の等角投影図(着色) 第10回: 住宅の庭の等角投影図(着色) より造園で要求される図面を建物との関係性を踏まえて描く。</p> <p>第11回: 円の描き方、1点透視図 第12回: 円の描き方、1点透視図 第13回: 1点透視図、パースペクティブベース 透視図の基礎として1点透視の原理と基本練習を行う。</p> <p>第14回: パースペクティブベース、1点透視図 型紙を使った1点透視図の描き方を学ぶ。</p> <p>第15回: 2点透視図 2点透視の原理と基礎を学ぶ。</p>						
授業の到達目標	図面を描く上で必要になる基礎的な概念をつかんでもらい演習する。手書きで図面を書く際の基本的な道具の使い方を習得する。各種基本図面の描き方の法則を知る。ほぼ全課題にわたって、準備された手本通りに描くことで基礎を習得する。Ⅱでは、基本的な道具の使い方は理解した前提での課題を実施していく。 【専門分野のスキル】【高度な専門力】						
授業時間外の学修	ある程度図の描き方が分かっている場合は、毎日30分から1時間、身近な生活空間を題材に平面図、立面図、正射投影図、パースなどの図を描く習慣をつける。						
課題に対するフィードバック	提出課題をチェックして返却します。	評価方法			課題提出物で100点分です。授業態度で減点されることがあります。課題はすべて提出する必要があります。提出数が少ないと減点となります。		
テキスト	適宜プリントを配布します。使用する道具は最初の授業の時に見せながら説明します。						
参考書	造園図面の表現と技法 1 野沢清・板橋二三男 誠文堂新光社(1977)						
備考	「基礎製図実習Ⅰ」の単位取得者						